



114  
A 853

秘甲第七一〇號  
 去ルハ日秘甲第七〇六號以テ及報告遺送米國運送船  
 ナヤイナ号ハ當横濱ニ入港不致出即チ一昨十日夜長  
 崎ヨリ電報ニ依テ同船方ニ七日午後五時日地ヲ去茂  
 シタル趣ナルモ神戸ニハ寄港セサケレ由且本月廿日馬尼刺土馬  
 尼代、アゴンシロカ長崎ヨリ當地滞留馬尼刺人、ラモス、  
 宛タル書状者十日午後郵着セシ趣ニテ右ニ付「ラモス」  
 密話スル知ニ依テハ追般未反將「アギナルド」ハ講和會  
 議ニ関シ土民ノ代表者ヲ出スコトヲ、メリット「米國將  
 軍」ヲ經テ米國政府ニ要求シ居ケル知今回米國  
 政府ハ其要求ヲ答レ土民代表者一名差出スヘク  
 上同將軍ハ訓令達ニタレテ「アギナルド」ハ在番

秘甲第七一〇號

馬尼刺ニ関スル報告

大正十一年四月  
 大隈侯爵郵寄贈



港ノアゴンシロツ其代表者ニ選定シ共事ソ在令傳  
達セラルル為メ都下ノカリカノアパレブレナル者ヲ選  
送シ船ヲヤイナチニ使乗セシメ唐港ノ派遣セリ而シテ  
同船ハ本月ニ唐港ニ着シ翌三日長崎港ニ向ケ抜  
錨ニ依リアゴンシロツ突然ノ事起辛クシテ其四時間  
内ニ旅装ヲ整ヘ漸ク同船ニ使乗スル事ヲ得タル次  
弟ナリトシテ又講和ニ関シアゴンシロツ代表者「ア  
ゴンシロツ」ニ其ハタレ訓令ハ絶対的ニ「アゴンシロツ」ニ  
獨立ト共和政府ノ設立ヲ主張スル事又何等ノ要  
ホヲ受クルモ決シテ應スル事ニテ其ノ權限ノ範  
圍ハ極メテ狹隘ナルモノ由「アゴンシロツ」從前唐港ニ於  
ケル馬片刺反徒ノ組織セル委員會ノ委員長ナリシガ  
同日地ヲ去ルニハ委員長ノ後任ニハ前記「カリカノアパレブレ

ヲ命セリトシテ

メリアト及グリーンシ、若國西將軍馬片刺ヨリ右「ヤ  
イナチ」号ニ使乗シタルモ「メリアト」將軍「唐港」ヨリ佛國  
郵船ニ乗替ヘ與佛國ニ渡航シ「グリーン」將軍「長  
崎」迄「ヤイナチ」号ニ乘リ同地ニ上陸シ同地ヨリ神戸  
ニ行地ノ汽船ニ使乗シテヨリ陸路京坂地方ヲ經テ横浜  
ニ出テ是ヨリ又右「ヤイナチ」号ニ乘船歸國スル筈ニ相成  
長崎迄然ルニ今日マテ日將軍等ハ勿論「ヤイナチ」号  
横浜ニ到着セサル以テ其後俄ニ模様変リ多分長崎  
ヨリ直ニ佛國ノ汽船ニ乗リ「ナント」云ヘリ

明治三十一年九月十二日

神奈川縣筆淺田徳則

右及報告也

外務大臣伯爵大隈重信殿

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

秘甲第七卷一男  
露国軍人ニ関スル報告

多摩横濱山手居留地七十三番居住露国海軍大尉子ヤギンニ昨十日正午其住宅、同国人共ニ名ヲ招キ宴會ヲ催フシタルニ右其動靜内復為致候所露国陸軍中將ヤシユ止同大尉シキニ公使殿負コガコーフ同フロゴコーフ貿易事務官アレキシルフ及右子ヤギン等、不日清国、向ケ出立スル趣ニテ之レカ為テ送別ノ宴ヲ催フシタルモノナリト云フ高聞ク所ニ依シハ同人等、長崎迄同行セ夫ヨリ身ニ離散スル由ニテ其目的地ニ果シテ何所ナリヤ不問ナリト云フ且前記宴會ニ未會セシ者重ニ公使殿附武官及同館員等ヤリシ由

右及報告候也

明治三十一年九月十二日

神奈川縣知事淺田徳則

外務大臣伯爵大隈重信殿